

第 50 回 物療校友会学術部放射線部会勉強会 報告書

日時：平成 31 年 3 月 2 日(土) 18 時 30 分～20 時 30 分

場所：大阪市立阿倍野市民学習センター 第 2 研修室

報告者：京都大学医学部附属病院 北澤 絹子

プログラム

1. 『当院における読影補助のあり方～急性腹症～』

近畿大学医学部附属病院 角森 靖弘 先生

2. 『初期診療における X 線単純撮影の救世主?! ～FPD を使いこなすための ABC～』

奈良県立医科大学附属病院 中前 光弘 先生

【報告事項】

平素よりお世話になっております。物療校友会学術部放射線部会勉強会副会長の北澤絹子です。

この度、第 50 回物療校友会学術部放射線部会勉強会を開催致しましたので、ご報告させていただきます。

今回は参加人数が少なくなりましたが、参加して下さった方々は診療放射線技師として、とても重要で貴重な話が聞けたと思います。

プログラム1では、近畿大学医学部附属病院の角森先生より『当院における読影補助のありかた～急性腹症～』というタイトルでご講演いただきました。近畿大学医学部附属病院で実際行われている放射線診断科の医師との症例検討会を模擬して、急性腹症の症例を提示していただき、基本的な CT 画像の見方や画像提供のあり方を話していただきました。読影補助に大切なことは、検査を行った時の患者状態をよく見て、その時に必要な画像が提供できるかどうかであると、角森先生の講演を聞いて感じました。

プログラム2では奈良県立医科大学附属病院の中前先生より『初期診療における X 線単純撮影の救世主?! ～FPD を使いこなすための ABC～』というタイトルでご講演いただきました。一般撮影に関する基礎的な話から、最近多くの研究会などで話題となっている仮想グリッドの話まで、多岐にわたるお話をしていただきました。デジタル化が進んでいる近年、技師として知っておかなければならない基本的なことが実は理解できていないことも多く、X 線を使用して撮影しているにもかかわらず、撮影条件や撮影方法についてよくわかっていないことがあると痛感させられました。仮想グリッドについては、中前先生の施設で使用されている様々な機種と比較検討された貴重な資料も提示していただき大変有用なお話を聞くことができました。



近畿大学医学部附属病院 角森 靖弘 先生



奈良県立医科大学附属病院 中前 光弘 先生

勉強会終了後の親睦会では、活発な意見交換が行われました。今後もたくさんの人に参加していただき、皆様の診療放射線技師としての技師生活に彩りを添えられるような勉強会になるよう、幹事共々取り組んでいきたいと思えます。

次回の勉強会の詳細が決まり次第、物療校友会ホームページに更新致しますのでご確認お願いいたします。今後もたくさんのご参加をお待ちしております。

作成日：平成31年3月20日